

幕張新都心モビリティコンソーシアム 第8回総会



開始までお待ちください。

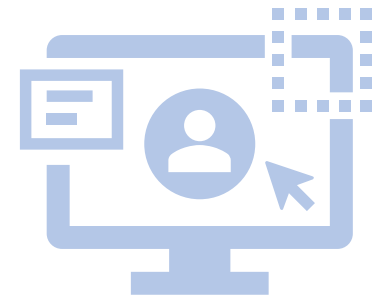
- Zoomの設定のお願い
 - カメラOFF
 - お名前:「会社名__お名前」

2025年3月3日

開催にあたっての留意事項

○以下、オンライン参加の方へ

- 名前の表示
 - 「貴社（団体）名_お名前」としてください。（例：千葉市_鈴木）
- 総会中のカメラ、マイクは発言時のみオンとしてください。
- 発言時は『チャット』や『手を挙げる』機能を活用下さい。
- 録音・録画、画面の撮影は厳禁でお願いいたします。



本日の次第

	次第	発表者	時間
10:00-	1 開会（事務局）	事務局（千葉市）	2分
10:02-	2 議題		
	（1）2025年度千葉市事業	事務局（千葉市）	10分
	（2）デジタルツイン実証	事務局（千葉市）	10分
	（3）規制緩和提案について	事務局（千葉市）	5分
	（4）座長の決定	事務局（千葉市）	3分
10:30	3 連絡事項	事務局（千葉市）	3分
10:33	閉会		

(1) 2025年度千葉市事業

2025年度事業

千葉市が行う事業について、来年の予算は以下の通り。ただし、国費を財源としており、国内示次第で変更の予定あり。

2024年度予算（国費内示後）

未来技術モビリティ社会実装サポート事業

- ①最先端モビリティサービス導入支援
- ②モビリティ連携システム等開発・導入支援

（補助率 2/3、補助上限 5,000千円×1件）

自動運転モビリティ実証委託
（74,000千円）

※国土交通省補助金は獲得できなかったものの、
デジタルツイン事業の範囲内で走行実証予定のため
執行予定なし

2025年度当初予算（予定）

未来技術モビリティ社会実装サポート事業

- ①最先端モビリティサービス導入支援
- ②モビリティ連携システム等開発・導入支援

（補助率 2/3、補助上限 20,000千円×1件）

自動運転サービス実証実験
（150,000千円）

※市の一般財源なし。
国土交通省補助金獲得を想定したもの。

(2) デジタルツイン実証

デジタルツインを活用したバーチャル実証

目 的

安全性の担保を実現する手段として、様々な走行条件や車両パラメータを簡単に可変し、Try & Errorが行えるバーチャル検証環境の構築と、それを活用した実証実施により、可及的速やかな実装へのステップアップを目指す。

実施内容・成果

※まだ業務が完了していないため、最終成果は追って公開予定

- 幕張新都心の一部を精緻に再現したバーチャル環境を構築
- 過去の事故データや実交通流データを基に、検証効果の高い複数のシナリオを選定
- バーチャル環境と現実世界で相互に検証し、バーチャル環境での検証精度を確認しつつ、安全性検証を実施
- バーチャル検証環境を構築・活用した自動運転の安全性検証は、自治体初の取り組み



バーチャルで再現した海浜幕張駅前

安全性検証の加速

モビリティ事業者
の参画促進

先端的都市として
のブランディング

【参考】時間帯による再現



(3) 規制緩和提案について

国家戦略特区とは

世界で一番ビジネスをしやすい環境を作ることを目的に、

地域や分野を限定し、**大胆な規制・制度の緩和や税制面の優遇**を行う制度。

通常



規
制

国家戦略特区なら



規
制

事業の展開・拡大

規制が事業の展開・拡充の障壁に

規制緩和により、事業の展開・拡充が可能！
全国措置されれば、その対象は全国へ。

千葉市で取組むメリット

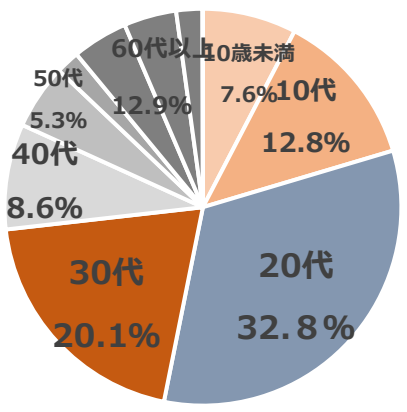
基礎自治体だからこそ、**住民とより近い環境**で実績を積みつつ、
ビジネスの本場である**首都・東京を見据えた事業の展開**が可能。

1

市としての成長性

- ◆ 若年層の転入が多い。
- ◆ 今後も大規模なマンション等の開発が予定されており、さらなる成長が期待できる。

転入者超過世代別内訳

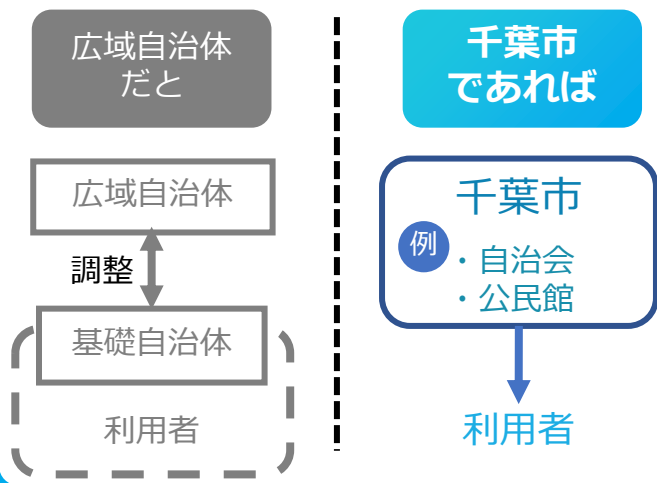


資料：千葉市住民基本台帳（R4）

2

利用者との距離が近い

- ◆ 利用者にダイレクトにアクセスしやすい。
- ◆ 都道府県（広域自治体）とは異なりスピーディにアクセスしやすい。

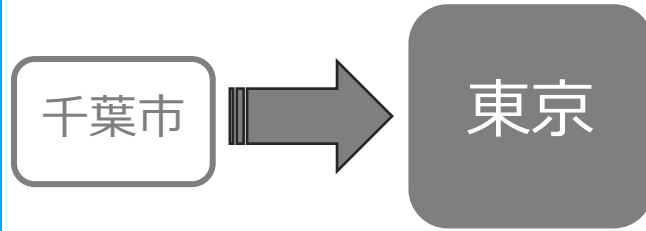


3

テストフィールドとして最適

- ◆ 住民属性（男女比、外国人住民比、年齢別等）が東京と類似している。
- ◆ 東京都心へのアクセス良好。

千葉市での実績を経て、スムーズに東京での事業展開が可能



千葉市で取組むメリット

事例紹介

事例①

(家事支援 外国人材)

平成30年度
認定

外国人材の活用により、
女性等の社会進出・活躍を推進

規
制

家事支援活動を行う外国人は、
外交官や高度外国人材などが雇用する
場合のみ、入国・在留が認められる。

緩
和

第三者管理協議会による管理の下、
一定の基準を満たす家事支援サービス
企業に雇用される外国人の入国・在留
が可能に。

事例②

(新規提案)

令和5年度
全国措置

シェアサイクルの促進による交通利便性向上と、
店舗来訪機会の増加による地域経済の活性化

規
制

大規模小売店舗の駐輪場の一部をシェアサ
イクルポートに置き換える場合、大店立地
法に基づく手続きが必要であり、設置まで
約8か月を要する。

緩
和

既設駐輪場の一部を置き換える場合、
シェアサイクルポートを駐輪場の一形
態として、直ちに設置が可能に。

(4) 座長の決定

幕張新都心モビリティコンソーシアム運営会則（抜粋）

（座長）

第8条 本コンソーシアムには、総会の決定により座長1名を置く。

- 2 座長は、本コンソーシアムを代表し、本コンソーシアムの運営等を掌理する。
- 3 座長の任期は、原則として1年とし、再任を妨げない。

現在の任期：

2024年4月1日～2025年3月31日

（総会）

第9条 本コンソーシアムに総会を置く。

- 2 総会は、会員をもって構成し、座長がこれを召集する。
- 3 総会は、会員の過半数の出席をもって成立する。
- 4 総会は、本コンソーシアムの基本となる活動方針の決定、事業計画の報告等を行う。
- 5 総会の議決は、出席者の過半数をもって決定するものとし、可否同数のときは、座長の決するところによる。

◆岡村教授のプロフィール



氏 名：岡村 敏之（オカムラ トシユキ）

役 職：東洋大学国際学部国際地域学科 教授

研究分野：社会基盤（土木・建築・防災）/土木
環境システム

社会基盤（土木・建築・防災）/土木
計画学、交通工学

◆主な経歴

1999年 東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学
専攻博士課程修了

1999年 広島大学大学院国際協力研究科 助手

2005年 横浜国立大学大学院工学研究院 助教授

2012年 東洋大学国際地域学部国際地域学科 教授

2016年 東洋大学国際学部国際地域学科 教授

◆主な委員歴

- 地域公共交通総合研究所 アドバイザリーボード
- 交通工学研究会 交通工学編集委員会
- 立川市 総合都市交通戦略協議会
- 板橋区 交通政策基本計画策定委員会
- 横浜市 横浜市自転車施策検討協議会 委員
- 相模原市 地域公共交通会議 委員 15など

3 連絡事項

事務局（千葉市）

連絡事項

事務局からのアナウンスは以下の通り

1. 資料の取扱い

- 本日の資料は、原則公表とさせていただきます（非公表のページは、千葉市ホームページに掲載する際に削除します。）。

2. 議事要旨の確認

- 事務局にて案を作成し、各会員様の確認を経て、千葉市ホームページにて公表させていただきます。

3. 2025年度の総会・中間まとめ報告会のスケジュール

- 6月頃に中間まとめ報告会、来年3月に第9回総会を開催する予定です。

4. 2025年度の参加意向・連絡先の確認

- 後日メールでご案内しますので、回答をお願いします。

幕張新都心モビリティコンソーシアム 第8回総会



以上